

令和8年度

予 算 説 明 書

上 下 水 道 局

# 目 次

## 水道事業会計

1	業務の予定量	.....	1
2	収支の予定額	.....	2
3	事項別説明	.....	4
4	債務負担行為	.....	14
5	企業債	.....	16
6	一時借入金	.....	16
7	職員定員表	.....	17

## 工業用水道事業会計

1	業務の予定量	.....	19
2	収支の予定額	.....	20
3	事項別説明	.....	22
4	債務負担行為	.....	27
5	一時借入金	.....	27
6	職員定員表	.....	28

## 下水道事業会計

1	業務の予定量	.....	29
2	収支の予定額	.....	30
3	事項別説明	.....	32
4	債務負担行為	.....	42
5	企業債	.....	43
6	一時借入金	.....	43
7	職員定員表	.....	44
	主な施策・事業	.....	45
	経営概況	.....	71

# 水道事業会計

## 1 業務の予定量

区 分		本 年 度	前 年 度	増 △ 減
給水量(立方メートル)	年 間	273,020,000	272,655,000	365,000
	1 日	748,000	747,000	1,000
給水戸数(戸)		1,430,000	1,412,000	18,000

## 2 収支の予定額

### 1 収益的収入及び支出

款 項	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円
( 収 入 )			
水道事業収益	59,692,768	56,613,680	3,079,088
営業収益	57,676,567	54,760,216	2,916,351
営業外収益	2,004,413	1,842,001	162,412
特別利益	11,788	11,463	325
収入合計	59,692,768	56,613,680	3,079,088

( 支 出 )			
水道経営費	59,076,101	57,048,221	2,027,880
営業費用	52,089,359	50,344,120	1,745,239
営業外費用	6,926,742	6,644,101	282,641
特別損失	50,000	50,000	-
予備費	10,000	10,000	-
支出合計	59,076,101	57,048,221	2,027,880

純 損 益	616,667	△ 434,541	1,051,208
未処分利益剰余金	1,422,156	717,704	704,452

2 資本的収入及び支出

款 項	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円
( 収 入 )			
資 本 的 収 入	16,613,511	15,182,360	1,431,151
企 業 債	13,000,000	12,000,000	1,000,000
出 資 金	415,000	581,000	△ 166,000
国 庫 補 助 金	984,650	636,000	348,650
県 補 助 金	-	23,265	△ 23,265
他 会 計 貸 付 金 返 還 金	139,167	138,681	486
基 金 収 入	4,820	2,782	2,038
基 金 繰 入 金	38,500	-	38,500
そ の 他 資 本 収 入	2,031,374	1,800,632	230,742
収 入 合 計	16,613,511	15,182,360	1,431,151

( 支 出 )			
資 本 的 支 出	39,273,534	37,259,222	2,014,312
建 設 改 良 費	34,004,430	32,169,708	1,834,722
償 還 金	5,264,284	5,086,732	177,552
投 資	4,820	2,782	2,038
支 出 合 計	39,273,534	37,259,222	2,014,312

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額22,660,023千円は、当年度分損益勘定留保資金等で補てんするものとする。

### 3 事項別説明

#### 1 収益的収入及び支出

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 減 千円	説 明	千円
(収 入)					
1 営 業 収 益	57,676,567	54,760,216	2,916,351		
1 給 水 収 益	49,936,000	47,608,000	2,328,000	水道料金 1日平均給水量 748 千m <sup>3</sup> 年間給水量 273,020 千m <sup>3</sup> 有収率 95.4 % 有収水量 260,337 千m <sup>3</sup> 給水戸数 1,430 千戸	49,936,000
2 工 事 収 益	5,567,255	5,113,870	453,385	受託による配水管移設等工事に伴う収入 受託による給水装置取付管工事に伴う収入	4,037,357 1,529,898
3 他 会 計 負 担 金	2,039,186	1,896,222	142,964	消火栓関係経費負担金 共通経費負担金	50,886 1,988,300
4 そ の 他 の 営 業 収 益	134,126	142,124	△ 7,998	給水工事審査収入等	134,126
2 営 業 外 収 益	2,004,413	1,842,001	162,412		
1 受 取 利 息 及 び 配 当 金	124,923	74,257	50,666	預金利息 他会計貸付金利息	105,561 19,362
2 他 会 計 負 担 金	532,278	474,652	57,626	水道料金福祉対策特例措置負担金 児童手当負担金 物価高騰対応生活扶助受給者等水道料金減免負担金	161,500 89,332 281,446
3 国 庫 補 助 金	1,640	-	1,640	スマートメータ導入費補助金	1,640

4 長期前受金戻入	820,845	795,358	25,487	減価償却等に伴う長期前受金の戻入	820,845
5 雑収益	524,727	497,734	26,993	不用品売却収益 その他雑収益	72,309 452,418
3 特別利益	11,788	11,463	325		
1 固定資産売却益	1,788	1,463	325	車両	1,788
2 過年度損益修正益	10,000	10,000	-		
収入合計	59,692,768	56,613,680	3,079,088		

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 減 千円	説 明	千円
(支 出)					
1 営 業 費 用	52,089,359	50,344,120	1,745,239		
1 原 水 及 び 浄 水 費	6,748,449	6,537,216	211,233	人件費 196人 物件費 施設の運転に要する電力費 浄水処理に要する薬品費 ダム、堰、用水施設等の管理費等分担金 取水場、浄水場、導水路の維持管理費 事務諸経費	1,710,028 5,038,421 1,312,547 452,859 473,984 2,399,096 399,935
2 配 水 費	16,207,654	15,595,523	612,131	人件費 301人 物件費 配水管の維持管理費 配水管網整備事業 配水管布設替工事(耐震管) 33,500m 受託による配水管布設工事費 配水管の撤去費 消火栓の維持管理費 配水場、ポンプ所の維持管理費 配管図面の整備にかかる経費 設計積算システムの運用経費 事務諸経費	2,610,364 13,597,290 1,602,322 6,634,588 3,684,702 431,671 59,125 831,792 58,603 81,291 213,196

3 給 水 費	4,985,498	4,712,590	272,908	人件費 305人 2,317,621 物件費 2,667,877 道路取付管の布設替、漏水修理等工事費 1,369,119 水道メータの取付、取外、修理等工事費 1,037,119 お客さまの屋内給水設備等の修繕工事費 82,283 給水品質の向上にかかる経費 84,536 上下水道マッピングシステム等の運用経費 57,215 事務諸経費 37,605
4 給 水 受 託 工 事 費	1,637,336	1,566,771	70,565	人件費 15人 97,402 物件費 1,539,934 受託による給水装置の新設、増設等工事費 1,518,648 事務諸経費 21,286
5 業 務 費	3,950,821	3,806,547	144,274	人件費 182人 1,528,666 物件費 2,422,155 水道メータ点検委託等、料金の徴収経費 1,271,781 口座振替による料金の徴収経費 145,978 クレジットカード決済による料金の徴収経費 170,395 納入通知書による料金の徴収経費 249,230 営業事務系システムの運営経費 208,071 お客さま受付センターの運営経費 228,386 営業センター等の建物の維持管理費 121,090 事務諸経費 27,224

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 減 千円	説 明	千円
6 総 係 費	2,577,329	2,491,310	86,019	人件費 133人 報酬 退職給付費 物件費 職員研修費 広報・広聴経費 職員の健康管理費 情報ネットワーク経費 その他一般管理費	1,275,997 6,953 534,996 759,383 30,147 80,024 25,098 166,688 457,426
7 減 価 償 却 費	15,490,786	15,246,947	243,839	有形固定資産 無形固定資産	13,934,980 1,555,806
8 資 産 減 耗 費	413,970	313,306	100,664	固定資産除却損	413,970
9 他 会 計 負 担 金	77,516	73,910	3,606	共通経費負担金	77,516
2 営 業 外 費 用	6,926,742	6,644,101	282,641		
1 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	1,072,020	942,746	129,274	企業債利息 借入金利息 水資源機構資金利息 企業債手数料及び取扱費	958,947 3,263 93,400 16,410
2 施 設 改 良 費	3,000,000	3,000,000	-	施設改良等の資本的支出にあてる補てん費	3,000,000
3 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	171,078	204,641	△ 33,563	納付消費税及び地方消費税	171,078

4 消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	2,673,644	2,486,714	186,930	消費税及び地方消費税の納税計算において、 資本的収支から発生する調整額	2,673,644
5 雑 支 出	10,000	10,000	-		
3 特 別 損 失	50,000	50,000	-		
1 過年度損益修正損	50,000	50,000	-		
4 予 備 費	10,000	10,000	-		
1 予 備 費	10,000	10,000	-		
支 出 合 計	59,076,101	57,048,221	2,027,880		

2 資本的収入及び支出

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △減 千円	説 明	千円
(収 入)					
1 企 業 債	13,000,000	12,000,000	1,000,000		
1 水 道 事 業 公 債	13,000,000	12,000,000	1,000,000	水道事業建設改良費にあてる起債 市場公募債 銀行等引受債	13,000,000 2,000,000 11,000,000
2 出 資 金	415,000	581,000	△ 166,000		
1 一 般 会 計 出 資 金	415,000	581,000	△ 166,000	水源施設建設負担金にあてる出資金 脱炭素化推進事業費にあてる出資金	344,000 71,000
3 国 庫 補 助 金	984,650	636,000	348,650		
1 国 庫 補 助 金	984,650	636,000	348,650	建設改良費補助金	984,650
4 県 補 助 金	-	23,265	△ 23,265		
1 県 補 助 金	-	23,265	△ 23,265	建設改良費補助金	
5 他 会 計 貸 付 金 返 還 金	139,167	138,681	486		
1 他 会 計 貸 付 金 返 還 金	139,167	138,681	486	工業用水道事業会計からの貸付金返還金	139,167
6 基 金 収 入	4,820	2,782	2,038		
1 基 金 収 入	4,820	2,782	2,038	利息	4,820
7 基 金 繰 入 金	38,500	-	38,500		
1 基 金 繰 入 金	38,500	-	38,500	水道事業基金繰入金	38,500

1 基金繰入金	38,500	-	38,500	水道事業基金繰入金	38,500
---------	--------	---	--------	-----------	--------

8 その他資本収入	2,031,374	1,800,632	230,742		
1 基本工事収入	908,479	914,144	△ 5,665	基本工事費収入	908,479
2 工費収入	1,020,872	794,977	225,895	配水管布設工事収入	1,020,872
3 固定資産売却代	714	1,885	△ 1,171	車両	714
4 その他資本収入	101,309	89,626	11,683	メータ負担金等	101,309
収入合計	16,613,511	15,182,360	1,431,151		

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 減 千円	説 明	千円
(支 出)					
1 建設改良費	34,004,430	32,169,708	1,834,722		
1 施設費	2,991,672	3,359,333	△ 367,661	人件費 4人 37,183 物件費 2,954,489 土地・建物 1,872,553 機械・器具備品 103,143 車両 40,730 水道メータ 379,717 システム開発経費 558,346	
2 浄水施設増補改良費	13,514,580	12,423,106	1,091,474	人件費 63人 587,692 物件費 12,926,888  <事業別内訳> 水道基幹施設整備 11,012,940 浄水施設改良 2,433,253 木曾川水系連絡導水路建設事業負担金 68,387	
3 配水施設増補改良費	16,888,735	15,749,106	1,139,629	人件費 88人 779,504 物件費 16,109,231  <事業別内訳> 配水管網整備 68,700m 13,959,144 配水施設改良 1,846,131 受託による配水管布設工事費 1,083,460	
4 リース資産購入費	609,443	638,163	△ 28,720	情報システム機器等のリース料	609,443

4	資産購入費	609,443	638,163	△ 28,720	情報システム機器等のリース料	609,443
---	-------	---------	---------	----------	----------------	---------

2	償還金	5,264,284	5,086,732	177,552		
1	企業債償還金	4,331,130	4,172,134	158,996	企業債償還金 令和7年度末見込現債額 83,262,815	4,331,130
2	水資源機構支払金	933,154	914,598	18,556	徳山ダム建設事業負担金(二次精算)	933,154
3	投資	4,820	2,782	2,038		
1	基金造成費	4,820	2,782	2,038	水道事業基金造成費	4,820
	支出合計	39,273,534	37,259,222	2,014,312		

4 債務負担行為

(期間の数字は年度を示す。)

事 項	限 度 額 千円	令和7年度末までの 支払義務発生・見込額		令和8年度以降の 支払義務発生予定額		左 の 財 源 内 訳		
		期 間	金 額 千円	期 間	金 額 千円	国 庫 補 助 金 千円	企 業 債 千円	損 益 勘 定 留 保 資 金 等 千円
水道施設維持管理 (令和7年第13号議決)	300,000		—	8~9	300,000	—	—	300,000
水道施設維持管理	900,000		—	9~10	900,000	—	—	900,000
徳山ダム建設事業における水道用水取水に係る費用の負担 (昭和51年第119号議決)		10~7	36,463,313	8~12	5,132,765	—	—	5,132,765
水道施設建設 (令和3年第14号議決)	25,000,000	4~7	17,006,993	8~9	3,191,500	59,840	1,692,000	1,439,660
水道施設建設 (令和4年第13号議決)	18,000,000	5~7	9,106,514	8~11	2,429,197	82,830	577,000	1,769,367
水道施設建設 (令和5年第12号議決)	12,000,000	6~7	7,902,981	8~11	2,413,790	486,625	1,767,000	160,165
水道施設建設 (令和6年第13号議決)	10,000,000	7	5,694,560	8~9	4,022,950	21,130	3,089,000	912,820
水道施設建設 (令和7年第13号議決)	13,000,000		—	8~11	13,000,000	919,000	9,083,000	2,998,000

水道施設建設	18,000,000		—	9~11	18,000,000	205,000	11,561,000	6,234,000
--------	------------	--	---	------	------------	---------	------------	-----------

水道施設建設	18,000,000		-	9~11	18,000,000	205,000	11,561,000	6,234,000
木曾川水系連絡導水路建設事業における水道用水取水に係る費用の負担 (令和7年第13号議決)	10,126,000		-	8~18	10,126,000	-	-	10,126,000
設計積算システムの改修・保守業務委託 (平成31年第15号議決)	570,000	2~7	510,789	8~10	52,521	-	-	52,521
営業事務システムの開発・保守業務委託 (令和4年第13号議決)	2,650,000	5~7	580,942	8~15	402,700	-	-	402,700
使用水量等照会システムの開発・保守業務委託 (令和7年第13号議決)	220,000		-	8~13	220,000	-	-	220,000
災害情報システムの開発・保守業務委託 (令和7年第13号議決)	240,000		-	8~13	240,000	42,000	-	198,000
財務会計システムの開発・保守業務委託 (令和7年第13号議決)	770,000		-	8~15	770,000	-	-	770,000

## 5 企業債

起債の目的	水道事業建設改良費にあてるため
限度額	13,000,000千円
起債の方法	普通貸借又は証券発行
利率	年 5.0%以内(ただし、利率見直し方式で借り入れる政府資金及び地方公共団体金融機構資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)
償還の方法	起債年度より据置期間をふくめ、40年度間以内に毎年元利もしくは元金均等の方法により、又は満期日に元金を一括して償還する。ただし、財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、もしくは繰上償還又は借換えすることができる。政府資金を借り入れる場合は、その融資条件による。

## 6 一時借入金

限度額	2,900,000千円
-----	-------------

## 7 職員定員表

科目	職名	特別職 人	事務職員 人	技術職員 人	計 人
(水道事業会計)					
水道経営費		1	322	705	1,028
営業費用		1	322	705	1,028
原水及び浄水費		-	16	165	181
配水費		-	28	250	278
給水費		-	17	248	265
給水受託工事費		-	2	13	15
業務費		-	165	4	169
総係費		1	94	25	120
資本的支出		-	14	139	153
建設改良費		-	14	139	153
施設費		-	-	4	4
浄水施設増補改良費		-	8	55	63
配水施設増補改良費		-	6	80	86
合計		1	336	844	1,181

-16A

# 工業用水道事業会計

## 1 業務の予定量

区 分		本 年 度	前 年 度	増 △ 減
給水量(立方メートル)	年 間	22,995,000	23,104,500	△ 109,500
	1 日	63,000	63,300	△ 300
事業所数(カ所)		111	109	2

## 2 収支の予定額

### 1 収益的収入及び支出

款 項	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円
( 収 入 )			
工業用水道事業収益	1,126,281	1,080,571	45,710
営 業 収 益	964,466	942,301	22,165
営 業 外 収 益	161,315	137,770	23,545
特 別 利 益	500	500	-
収 入 合 計	1,126,281	1,080,571	45,710

( 支 出 )			
工業用水道経営費	1,123,161	1,079,545	43,616
営 業 費 用	1,031,221	999,485	31,736
営 業 外 費 用	90,440	78,560	11,880
特 別 損 失	500	500	-
予 備 費	1,000	1,000	-
支 出 合 計	1,123,161	1,079,545	43,616

純 損 益	3,120	1,026	2,094
未 処 分 利 益 剰 余 金	239,386	221,108	18,278

### 2 資本的収入及び支出

## 2 資本的収入及び支出

款 項	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円
( 収 入 )			
資 本 的 収 入	41,704	19,316	22,388
出 資 金	14,204	8,316	5,888
そ の 他 資 本 収 入	27,500	11,000	16,500
収 入 合 計	41,704	19,316	22,388

( 支 出 )			
資 本 的 支 出	901,515	604,591	296,924
建 設 改 良 費	762,348	465,910	296,438
他 会 計 借 入 金 返 還 金	139,167	138,681	486
支 出 合 計	901,515	604,591	296,924

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額859,811千円は、当年度分損益勘定留保資金等で補てんするものとする。

## 3 事項別説明

## 1 収益的収入及び支出

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △減 千円	説 明	千円
(収 入)					
1 営 業 収 益	964,466	942,301	22,165		
1 給 水 収 益	880,291	883,816	△ 3,525	工業用水道料金 1日平均給水量 63,000 m <sup>3</sup> 年間給水量 22,995,000 m <sup>3</sup> 給水事業所 111 カ所	880,291
2 受 託 工 事 収 益	84,175	58,485	25,690	受託による配水管移設等工事に伴う収入	84,175
2 営 業 外 収 益	161,315	137,770	23,545		
1 受 取 利 息 及 び 配 当 金	19,865	8,980	10,885	預金利息 運用金利息	200 19,665
2 他 会 計 負 担 金	680	440	240	児童手当負担金	680
3 長 期 前 受 金 戻 入	126,194	124,282	1,912	減価償却等に伴う長期前受金の戻入	126,194
4 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 還 付 金	14,184	-	14,184	還付消費税及び地方消費税	14,184
5 雑 収 益	392	4,068	△ 3,676	その他雑収益	392
3 特 別 利 益	500	500	-		
1 過 年 度 損 益 修 正 益	500	500	-		
収 入 合 計	1,126,281	1,080,571	45,710		

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 減 千円	説 明	千円
(支 出)					
1 営 業 費 用	1,031,221	999,485	31,736		
1 供 給 費	386,689	363,201	23,488	人件費 2人 退職給付費 物件費 施設の運転に要する電力費 浄水処理に要する薬品費 浄水場等の維持管理費 事務諸経費	27,488 1,169 358,032 78,646 3,004 241,894 34,488
2 減 価 償 却 費	596,921	596,951	△ 30	有形固定資産 無形固定資産	325,421 271,500
3 資 産 減 耗 費	12,994	4,844	8,150	固定資産除却損	12,994
4 他 会 計 負 担 金	34,617	34,489	128	共通経費負担金 一般会計負担金 他事業負担金	34,617 400 34,217
2 営 業 外 費 用	90,440	78,560	11,880		
1 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	19,562	19,948	△ 386	借入金利息 他会計借入金利息	200 19,362
2 施 設 改 良 費	10,000	10,000	-	施設改良等の資本的支出にあてる補てん費	10,000
3 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	-	9,034	△ 9,034	納付消費税及び地方消費税	

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △減 千円	説 明 千円
4 消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	59,878	38,578	21,300	消費税及び地方消費税の納税計算において、 資本的収支から発生する調整額 59,878
5 雑 支 出	1,000	1,000	-	
3 特 別 損 失	500	500	-	
1 過 年 度 損 益 修 正 損	500	500	-	
4 予 備 費	1,000	1,000	-	
1 予 備 費	1,000	1,000	-	
支 出 合 計	1,123,161	1,079,545	43,616	

## 2 資本的収入及び支出

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 減 千円	説 明	千円
(収 入)					
1 出 資 金	14,204	8,316	5,888		
1 一 般 会 計 出 資 金	14,204	8,316	5,888	水源施設建設負担金にあてる出資金	14,204
2 その他資本収入	27,500	11,000	16,500		
1 工 費 収 入	27,500	11,000	16,500	配水管布設工事収入	27,500
収 入 合 計	41,704	19,316	22,388		

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △減 千円	説 明	千円
(支 出)					
1 建設改良費	762,348	465,910	296,438		
1 施設費	715,003	438,190	276,813	配水管整備事業 連絡管布設工事等 施設改良工事等 配水管改良等 メータ設置工事等	123,344 27,500 255,467 297,650 11,042
2 建設費	47,345	27,720	19,625	木曾川水系連絡導水路建設事業負担金	47,345
2 他会計借入金返還金	139,167	138,681	486		
1 他会計借入金返還金	139,167	138,681	486	水道事業会計への借入金返還金	139,167
支出合計	901,515	604,591	296,924		

#### 4 債務負担行為

(期間の数字は年度を示す。)

事 項	限 度 額 千円	令 和 7 年 度 末 ま だ の 支 払 義 務 発 生 ・ 見 込 額		令 和 8 年 度 以 降 の 支 払 義 務 発 生 予 定 額		左 の 財 源 内 訳	
		期 間	金 額 千円	期 間	金 額 千円	企 業 債 千円	損益勘定留保資金等 千円
工業用水道施設維持管理	300,000		—	9~10	300,000	—	300,000
工業用水道施設建設 (令和7年第14号議決)	200,000		—	8~9	200,000	—	200,000
工業用水道施設建設	550,000		—	9~10	550,000	—	550,000
木曾川水系連絡導水路建設事業における工業用水取水に係る費用の負担 (令和7年第14号議決)	7,828,000		—	8~18	7,828,000	—	7,828,000

#### 5 一時借入金

限 度 額 100,000千円

## 6 職員定員表

科目	職名	事務職員人	技術職員人	計人
(工業用水道事業会計)				
工業用水道経営費		-	2	2
営業費用		-	2	2
供給費		-	2	2
合計		-	2	2

# 下 水 道 事 業 会 計

## 1 業務の予定量

区 分		本 年 度	前 年 度	増 △ 減
処理面積(ヘクタール)		29,200	29,197	3
処理水量(立方メートル)	年 間	438,365,000	438,000,000	365,000
	1 日	1,201,000	1,200,000	1,000
水洗便所の改造(個)		300	400	△ 100

(注) 処理面積については、年度当初と年度末の中間値

## 2 収支の予定額

### 1 収益的収入及び支出

款 項	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円
( 収 入 )			
下水道事業収益	87,963,779	82,485,854	5,477,925
営 業 収 益	77,602,301	73,052,097	4,550,204
営 業 外 収 益	10,097,344	9,428,757	668,587
特 別 利 益	264,134	5,000	259,134
収 入 合 計	87,963,779	82,485,854	5,477,925

( 支 出 )			
下水道経営費	87,631,867	83,515,813	4,116,054
営 業 費 用	79,321,138	75,866,802	3,454,336
営 業 外 費 用	8,270,729	7,609,011	661,718
特 別 損 失	30,000	30,000	-
予 備 費	10,000	10,000	-
支 出 合 計	87,631,867	83,515,813	4,116,054

純 損 益	331,912	△ 1,029,959	1,361,871
未 処 理 欠 損 金 (△)	△ 541,822	△ 1,261,533	△ 719,711

未処理欠損金 (△)	△	541,822	△	1,261,533	△	719,711
------------	---	---------	---	-----------	---	---------

## 2 資本的収入及び支出

款 項	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円
( 収 入 )			
資 本 的 収 入	39,002,090	37,923,717	1,078,373
企 業 債	25,802,000	25,416,000	386,000
他 会 計 補 助 金	71	-	71
国 庫 補 助 金	12,030,000	11,009,000	1,021,000
そ の 他 資 本 収 入	1,153,730	1,482,976	△ 329,246
水洗便所改造資金貸付事業収入	16,289	15,741	548
収 入 合 計	39,002,090	37,923,717	1,078,373

( 支 出 )			
資 本 的 支 出	78,837,765	78,605,263	232,502
建 設 改 良 費	53,011,030	51,122,833	1,888,197
償 還 金	25,815,775	27,471,270	△ 1,655,495
水洗便所改造資金貸付事業費	10,960	11,160	△ 200
支 出 合 計	78,837,765	78,605,263	232,502

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額39,841,004千円(水洗便所改造資金貸付事業収支差額 5,329千円を除く。)は、当年度分損益勘定留保資金等で補てんするものとする。

### 3 事項別説明

#### 1 収益的収入及び支出

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △減 千円	説 明	千円
(収 入)					
1 営 業 収 益	77,602,301	73,052,097	4,550,204		
1 下 水 道 使 用 料	37,442,000	35,445,000	1,997,000	下水道使用料 年間有収水量 255,824 千m <sup>3</sup> 下水道使用戸数 1,345 千戸	37,442,000
2 他 会 計 負 担 金	36,645,192	35,405,420	1,239,772	雨水処理費負担金 緊急雨水整備事業費負担金 高度処理費負担金	32,516,621 4,003,947 124,624
3 受 託 工 事 収 益	3,389,448	2,088,686	1,300,762	受託による下水管移設等工事に伴う収入 受託による排水設備取付管工事に伴う収入	1,788,458 1,600,990
4 そ の 他 の 営 業 収 益	125,661	112,991	12,670	生産物売却代等	125,661

2 営業外収益	10,097,344	9,428,757	668,587	
1 受取利息及び配当金	23,100	16,100	7,000	預金利息 6,000 運用金利息 17,100
2 他会計負担金	655,755	586,679	69,076	下水道使用料福祉対策特例措置負担金 145,656 水質規制経費負担金 149,428 水洗便所普及事務費負担金 18,023 児童手当負担金 88,544 物価高騰対応生活扶助受給者等下水道使用料減免負担金 254,104
3 他会計補助金	26,987	14,814	12,173	水洗便所普及助成のための補助金 1,115 脱炭素化推進事業費補助金 25,872
4 長期前受金戻入	6,947,167	6,405,881	541,286	減価償却等に伴う長期前受金の戻入 6,947,167
5 消費税及び地方消費税 還付金	1,513,839	1,567,285	△ 53,446	還付消費税及び地方消費税 1,513,839
6 雑収益	930,496	837,998	92,498	その他雑収益 930,496 処理水再利用経費 20,790 土地・建物使用料等 909,706
3 特別利益	264,134	5,000	259,134	
1 固定資産売却益	259,134	-	259,134	
2 過年度損益修正益	5,000	5,000	-	
収入合計	87,963,779	82,485,854	5,477,925	

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △減 千円	説 明	千円
(支 出)					
1 営 業 費 用	79,321,138	75,866,802	3,454,336		
1 下 水 管 費	9,036,151	8,295,328	740,823	人件費 167人 1,457,754 物件費 7,578,397 本管清掃延長 207,100 m 雨水ます清掃個数 704,880 個 本管調査延長 198,400 m 取付管調査カ所 30,000 カ所 管きよの清掃費 863,029 管きよの老朽度調査費 985,732 管きよの補修費 5,067,641 調整池等の維持費 198,801 下水道台帳の作成費 64,224 事務諸経費 398,970	
2 処 理 場 費	10,159,921	10,032,420	127,501	人件費 293人 2,661,133 物件費 7,498,788 施設数 水処理センター 15 カ所 処理水量 438,365 千m <sup>3</sup>	

				電力費 2,648,871 薬品費 543,255 水処理センターで取り除かれた砂・ごみ等の処分費 289,523 施設の補修費 1,292,304 燃料費 73,368 水道料金・工業用水道料金・下水道使用料 297,498 施設の保守点検等の委託費 1,108,117 材料費 44,192 事務諸経費 1,201,660
3 汚 泥 処 理 場 費	7,286,221	7,144,468	141,753	人件費 41人 368,514 物件費 6,917,707 施設数 汚泥処理場 3カ所 発生汚泥量 8,071 千m <sup>3</sup> 脱水ケーキ発生量 227,781 t 有効利用量 224,240 t 有効利用率 98.4 % 脱水ケーキ焼却量 163,781 t 焼却灰発生量 6,628 t 脱水ケーキ燃料化量 64,000 t 燃料化物発生量 16,696 t 電力費 767,321 薬品費 398,001 下水汚泥の処分費 280,119 施設の補修費 1,931,676 燃料費 498,014 水道料金・工業用水道料金・下水道使用料 323,680 施設の保守点検等の委託費 2,578,076 材料費 99,674 事務諸経費 41,146



6 総 係 費	2,557,516	2,367,233	190,283	人件費 132人 報酬 退職給付費 物件費 職員研修費 広報・広聴経費 工場排水の水質分析費 職員の健康管理費 情報ネットワーク経費 その他一般管理費	1,246,499 5,649 369,751 935,617 14,671 58,195 15,504 25,098 163,081 659,068
7 減 価 償 却 費	39,281,330	39,113,648	167,682	有形固定資産 無形固定資産	39,146,685 134,645
8 資 産 減 耗 費	1,315,288	902,401	412,887	固定資産除却損	1,315,288
9 他 会 計 負 担 金	2,002,564	1,858,162	144,402	共通経費負担金 一般会計負担金 他事業負担金	2,002,564 72,458 1,930,106
2 営 業 外 費 用	8,270,729	7,609,011	661,718		
1 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	4,885,123	4,300,435	584,688	企業債利息 借入金利息 企業債手数料及び取扱費	4,799,852 5,070 80,201

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 減 千円	説 明	千円
2 水洗便所費	94,438	94,215	223	人件費 9人 77,658 物件費 16,780 くみ取便所改造奨励補助金 210 7件×@30,000円 浄化槽廃止奨励補助金 650 65件×@10,000円 生活扶助受給世帯等くみ取便所改造奨励補助金 255 1件×@255,000円 私道共同排水設備工事の助成補助金 6,000 (補助対象工事費の全額) 宅地内排水ポンプ設備設置工事の助成補助金 8,000 (補助対象工事のうち80万円以内) 事務諸経費 1,665	
3 消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	3,290,168	3,213,361	76,807	消費税及び地方消費税の納税計算において、 資本的収支から発生する調整額	3,290,168
4 雑 支 出	1,000	1,000	-		
3 特 別 損 失	30,000	30,000	-		
1 過年度損益修正損	30,000	30,000	-		
4 予 備 費	10,000	10,000	-		
1 予 備 費	10,000	10,000	-		
支 出 合 計	87,631,867	83,515,813	4,116,054		

2 資本的収入及び支出

	本年度予算額	前年度予算額	増 減	説 明	明
--	--------	--------	-----	-----	---

## 2 資本的収入及び支出

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 減 千円	説 明	千円
(収 入)					
1 企 業 債	25,802,000	25,416,000	386,000		
1 下水道事業公債	25,802,000	25,416,000	386,000	下水道事業建設改良費にあてる起債 政府資金債 市場公募債 銀行等引受債	25,802,000 13,002,000 11,000,000 1,800,000
2 他会計補助金	71	-	71		
1 他会計補助金	71	-	71	脱炭素化推進事業費補助金	71
3 国庫補助金	12,030,000	11,009,000	1,021,000		
1 国庫補助金	12,030,000	11,009,000	1,021,000	建設改良費補助金	12,030,000
4 その他資本収入	1,153,730	1,482,976	△ 329,246		
1 工 費 収 入	1,128,291	1,482,838	△ 354,547	関連工事費収入等	1,128,291
2 固定資産売却代	25,439	138	25,301	土地売却等	25,439
5 水洗便所改造資金貸付事業収入	16,289	15,741	548		
1 企 業 債	9,000	8,000	1,000	水洗便所改造資金貸付金にあてる起債	9,000
2 他会計借入金	2,800	3,000	△ 200	浄化槽廃止貸付金にあてる借入金	2,800
3 貸付金返還金	4,489	4,741	△ 252	水洗便所改造資金貸付金の返還金 浄化槽廃止貸付金の返還金	2,816 1,673
収 入 合 計	39,002,090	37,923,717	1,078,373		

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 減 千円	説 明
(支 出)				
1 建設改良費	53,011,030	51,122,833	1,888,197	
1 施設費	533,727	291,470	242,257	土地・建物 341,502 車両 15,675 器具備品 21,876 システム開発経費 154,674
2 拡張費	52,462,000	50,822,000	1,640,000	人件費 238人 2,215,922 物件費 50,246,078  <施設別内訳> 管きよ 30,004,000 管きよ $\theta 3,500\text{mm} \sim \theta 200\text{mm}$ 52,000m (整備面積 12ha) ポンプ所 笠寺ポンプ所始め26カ所 7,052,000 処理場 空見スラッジリサイクルセンター 始め17カ所 15,406,000  <目的別内訳> 普及促進事業(未整備地域の普及整備) 966,000 年度末人口普及率 99.5 % 浸水対策事業 8,371,000 (雨水ポンプ・管きよの増強等) 下水道施設のリフレッシュ事業 41,023,000 (老朽施設の再構築) 水環境の向上(合流式下水道の越流対策等) 2,102,000

				<財源内訳> 国庫補助金 企業債 留保資金等	
				国庫補助金	12,000,000
				企業債	25,731,000
				留保資金等	14,731,000
3 リース資産購入費	15,303	9,363	5,940	情報システム機器のリース料	15,303
2 償還金	25,815,775	27,471,270	△ 1,655,495		
1 企業債償還金	25,815,775	27,471,270	△ 1,655,495	企業債償還金 令和7年度末見込現債額 430,755,824	25,815,775
3 水洗便所改造資金貸付事業費	10,960	11,160	△ 200		
1 貸付金	8,160	8,160	-	水洗便所改造資金貸付金 10件 (貸付限度額 510,000円)	5,100
				浄化槽廃止貸付金 9件 (貸付限度額 390,000円)	3,060
2 他会計借入金返還金	2,800	3,000	△ 200	浄化槽廃止貸付金にあてた借入金の返還金	2,800
支出合計	78,837,765	78,605,263	232,502		

#### 4 債務負担行為

(期間の数字は年度を示す。)

事 項	限 度 額 千円	令和7年度末までの 支払義務発生・見込額		令和8年度以降の 支払義務発生予定額		左の財源内訳		
		期 間	金 額 千円	期 間	金 額 千円	国庫補助金 千円	企 業 債 千円	損 益 勘 定 留 保 資 金 等 千円
下水道施設維持管理	500,000		—	9	500,000	—	—	500,000
下水道建設 (令和5年第14号議決)	35,000,000	6~7	19,782,586	8~9	2,678,004	1,299,390	1,361,000	17,614
下水道施設建設 (令和6年第15号議決)	31,000,000	7	13,428,223	8~10	16,215,733	7,282,450	8,811,000	122,283
下水道施設建設 (令和7年第15号議決)	38,000,000		—	8~11	38,000,000	13,340,750	24,054,000	605,250
下水道施設建設	49,000,000		—	9~12	49,000,000	19,291,400	29,282,000	426,600
下水汚泥固形燃料化施設の 整備・運営 (平成28年第16号議決)	21,950,000	29~7	12,158,791	8~22	9,345,992	—	—	9,345,992
下水汚泥焼却施設の 整備・運営 (令和4年第15号議決)	17,980,000	5~7	4,376,420	8~28	12,985,570	1,744,600	1,427,000	9,813,970
下水処理施設の 改築・運営	159,800,000		—	9~38	159,800,000	66,264,996	58,634,000	34,901,004

## 5 企業債

起債の目的	下水道事業建設改良費及び水洗便所改造資金貸付金にあてるため		
限度額	25,811,000千円		
	下水道事業建設改良費	25,802,000千円	
	水洗便所改造資金貸付金	9,000千円	
起債の方法	普通貸借又は証券発行		
利率	年 5.0%以内(ただし、利率見直し方式で借り入れる政府資金及び地方公共団体金融機構資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)		
償還の方法	起債年度より据置期間をふくめ、40年度間以内に毎年元利もしくは元金均等の方法により、又は満期日に元金を一括して償還する。ただし、財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、もしくは繰上償還又は借換えすることができる。政府資金を借り入れる場合は、その融資条件による。		

## 6 一時借入金

限度額 4,500,000千円

## 7 職員定員表

科目	職名	事務職員人	技術職員人	計人
(下水道事業会計)				
下水道経営費		159	540	699
営業費用		153	538	691
下水管費		30	126	156
処理場費		15	264	279
汚泥処理場費		9	31	40
ポンプ所費		9	72	81
受託工事費		1	16	17
総係費		89	29	118
営業外費用		6	2	8
水洗便所費		6	2	8
資本的支出		23	211	234
建設改良費		23	211	234
拡張費		23	211	234
合計		182	751	933

## 主 な 施 策 ・ 事 業

料金収入は、水道料金、下水道使用料とも、令和7年10月分からの料金改定により増収を見込んでおります。しかしながら、長期的にみると使用水量は減少傾向であり、今後もこの傾向は続くものと考えられます。また、資材価格や労務単価などの高騰による費用の増加は、安定的な事業運営に非常に強い影響を及ぼしております。さらに、金利も上昇しており、支払利息が増加し経営を圧迫していく懸念があります。

そうした状況においても、市民生活・社会経済活動を根底から支える上下水道事業の使命を果たすため、施設の老朽化対策や南海トラフ地震を見据えた地震対策、また、大雨に対する備えとしての浸水対策などを進めていく必要があります。

このように、上下水道事業を取り巻く経営環境は極めて厳しい状況が続いておりますが、持続可能な上下水道システムの構築に向け、「名古屋市上下水道経営プラン2028（改定版）」に沿って、効率的かつ効果的な事業執行に努めつつ、将来を見据えた投資については、アセットマネジメントに基づき計画的かつ着実に行うことにより、信頼される名古屋の上下水道事業を維持向上してまいります。

## 1 水道事業・下水道事業

		ページ
(1) つよく ～強靱な施設～	施策1 強靱な施設整備の推進	48
	施策2 施設の健全性を確保する維持管理	52
(2) やさしく ～おいしい水・健全な水循環～	施策3 良質な水源を活かした安全でおいしい水道水の安定供給	54
	施策4 健全な水循環の創出とGXの推進	57
(3) どんなときでも ～連携による危機管理～	施策5 災害対応力の強化	60
	施策6 民間企業や他都市等との連携強化	62
(4) いつまでも ～持続可能な経営基盤～	施策7 経営改善の推進	63
	施策8 人材の育成と技術力を活かした貢献	65
	施策9 DXの推進	67
	施策10 市民の皆さまとの信頼の構築	68

## 2 工業用水道事業

(1) 工業用水道事業の運営	70
----------------	----

# 1 水道事業・下水道事業

## (1) つよく ～強靱な施設～

### 施策1 強靱な施設整備の推進

#### ①水道基幹施設の更新及び機能向上

水道

- 水道基幹施設については、点検・調査に基づき長寿命化を図るとともに、老朽化した施設の計画的な更新にあわせ、耐震化や省エネルギー化などの機能向上を進めます。

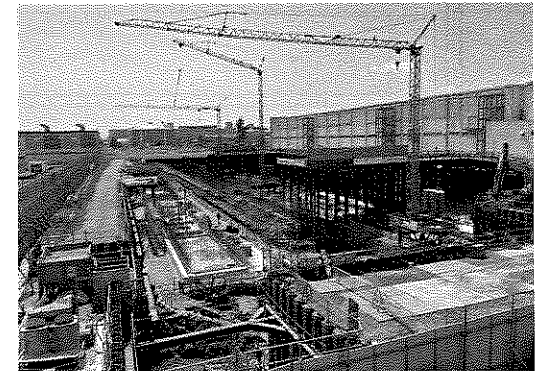
令和8年度については、引き続き春日井浄水場や鳴海配水場などの老朽化した施設の更新及び機能向上を実施します。

#### 主な整備施設

- ・春日井浄水場
- ・鳴海配水場

春日井浄水場

事業費 110億1,294万円



【春日井浄水場

(凝集沈澱池の更新工事)】

#### ②配水管の更新及び耐震化

水道

事業費 205億9,373万円

- 布設後の経過年数や埋設されている土壌の腐食性などから老朽度を評価し、更新優先度の高いものから計画的に更新及び耐震化を進めます。特に地震による配水管の被害を効果的に低減するため、南海トラフ地震の被害想定における液状化想定区域において被害が多いとされる配水管を重点的に更新し耐震化を進めます。また、再開発が進められている名古屋駅周辺など都市機能が集積する地域の耐震化を進めます。

配水管の耐震化延長 102km

うち液状化想定区域において被害が多いとされる配水管の耐震化延長 23km

### ③下水道基幹施設の改築及び機能向上

#### 下水道

事業費 241億2,000万円

- ・ 下水道基幹施設については、点検・調査に基づき長寿命化を図るとともに、老朽化した施設の計画的な改築にあわせて、施設の集約化、施設規模の適正化、災害に備えた強靱化、脱炭素化などの機能向上を進めます。  
令和8年度については、空見スラッジリサイクルセンター第2期焼却施設の整備を進めるとともに、宝神水処理センターなどの老朽化した設備の改築及び機能向上を実施します。

#### 主な整備施設

- ・ 空見スラッジリサイクルセンター第2期焼却施設
- ・ 宝神水処理センター

- ・ 水処理センターを再構築するため、堀留水処理センター、熱田水処理センターの廃止を含む山崎水処理センターの改築及び汚水送水管の整備を進めます。
- ・ 長時間の停電時にも水処理センター等の機能を確保するため、非常用発電設備を増強するなど停電対策を進めます。

#### 主な整備施設

- ・ 宝神水処理センター
- ・ 植田水処理センター

- ・ 河川の氾濫等により浸水被害が生じる可能性がある水処理センターなどの機能を確保するため、耐水化を進めます。

#### 主な整備施設

- ・ 柴田水処理センター
- ・ 笠寺ポンプ所

#### ④下水管の改築及び耐震化 **下水道**

事業費 194億3,952万円

- ・ 定期的に実施する下水管内調査の結果を踏まえて、老朽度の高いものから計画的に改築を進めます。
- ・ 下水管の地震対策として、指定避難所等と水処理センターを結ぶ下水管などの重要な下水管については、優先的に耐震化を進めます。

下水管の改築にあわせた耐震化延長 45 km

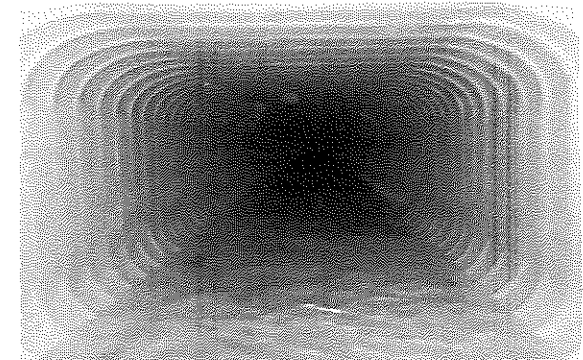
うち重要な下水管の耐震化延長 10 km

- ・ 南海トラフ地震における液状化想定区域内のマンホールについて、浮上防止対策を進めます。

マンホールの浮上防止対策 1,400 か所

- ・ 下水管に起因する道路陥没の主な原因となっている取付管について、改良を進めます。特に、旧規格の陶管が集中している地域については、重点的に改良を実施します。

取付管改良工事 12,000 か所



【下水管の改築（更生後の管内状況）】

## ⑤下水道による浸水対策

### 下水道

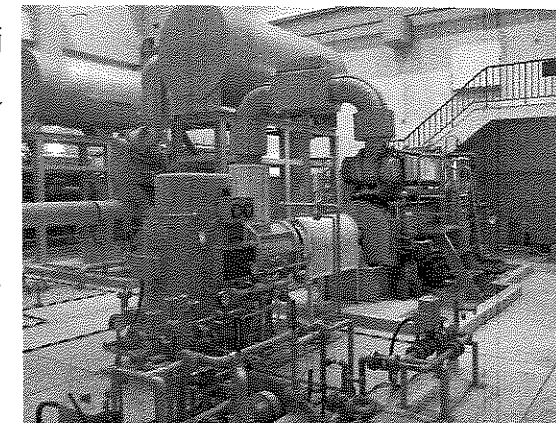
事業費 83億7,100万円

- ・ 名古屋市総合排水計画に基づき、1時間63mmの降雨に対して浸水被害をおおむね解消するとともに、1時間約100mmの降雨に対して床上浸水をおおむね解消することを目指して下水道施設の整備を進めます。

令和8年度については、引き続き名古屋駅周辺を含む中川運河上流地域等の浸水リスクや浸水による都市機能への影響度が高い重点地区（面的整備地区）において整備を進めます。また、下水管や雨水ポンプの改築にあわせて能力増強などを進めます。

#### 主な整備施設

- ・ 菅田ポンプ所
- ・ 川北ポンプ所



【雨水ポンプの整備】

## 施策2 施設の健全性を確保する維持管理

### ①水道基幹施設の維持管理 **水道**

- ・ 土木・建築構造物については、新築または改築後 40 年経過している施設のコンクリート構造物の詳細点検など、計画的な点検を実施し、その結果を踏まえた適切な修繕を行うことにより施設の長寿命化を図ります。配水池は目視が困難であるため、清掃にあわせて点検を実施します。

#### 配水池の点検・清掃 2池

- ・ 電気・機械設備については、計画的な点検を実施して健全性を把握し、その結果を踏まえた適切な修繕を行うことによって良好な状態に保ちます。
- ・ 管路におけるバルブなどの付属設備については、計画的な点検により機能を確認し、必要に応じて修繕を行うことによって機能の確保を図ります。

### ②配水管の維持管理 **水道**

- ・ 配水管及び付属設備を良好な状態に保つため、点検・調査を計画的に実施するとともに、修繕などを適切に行います。
- ・ 水管橋における目視困難箇所の状態を把握するため、ドローンなどを活用した点検を行います。
- ・ 漏水の早期発見と二次災害の防止を図るため、定期的な漏水調査を都心部や軌道下などで実施します。



【ドローンによる水管橋の点検】

### ③下水道基幹施設の維持管理

#### 下水道

- 土木・建築構造物については、新築または改築後 40 年経過した施設のコンクリート構造物の詳細点検など、計画的な点検を実施し、その結果を踏まえた適切な修繕を行うことによって良好な状態に保ちます。

コンクリート構造物の詳細点検 2 池

- 電気・機械設備については、計画的な点検を実施して健全性を把握し、その結果を踏まえた適切な修繕を行うことによって良好な状態に保ちます。
- 雨水ポンプ施設については、計画的な点検や整備を実施するほか、降雨期前には雨水排水機能を総合的に点検することで、確実な雨水排水を行います。

### ④下水管の維持管理

#### 下水道

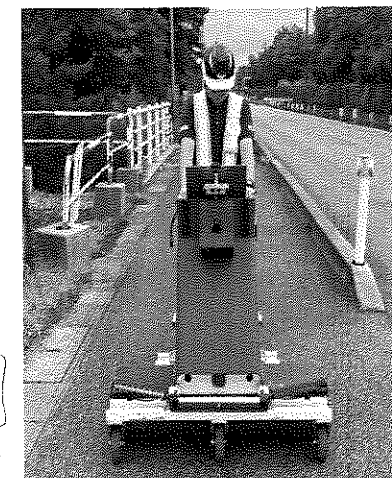
- 長期間にわたって下水管を使用するため、布設後 50 年を経過した下水管については定期的に下水管内調査を実施し、状態把握に努めます。また、調査結果に応じて適切に修繕や改築を行うことにより、健全性を確保しつつ長寿命化を図ります。

下水管内調査 180km

- 下水管に起因する道路陥没の主な原因となっている陶製の取付管の調査・改良を実施するとともに、路面下の空洞調査を実施し、道路陥没の未然防止に努めます。

空洞調査 140km

- 国の要請に基づき令和 7 年度に行った下水道管路の全国特別重点調査の結果に応じて、適切に修繕を行うことにより、健全性を確保しつつ長寿命化を図ります。



【空洞調査】

## (2) やさしく ～おいしい水・健全な水循環～

### 施策3 良質な水源を活かした安全でおいしい水道水の安定供給

#### ①水道水の安全性・安定性の向上 **水道**

- ・ 水源水質の安全性を確認するため、木曾川やダム湖などの定期的な水質調査を行います。
- ・ 国や県などの関係機関と協力して水質管理に取り組むとともに、木曾川流域の関係機関や自治体と連携し、より効率的かつ効果的に水源リスクに対応できるように、流域全体での水源水質に関する情報共有を図ります。
- ・ 水源水質の急変などのリスクに対応できるよう、春日井浄水場の凝集沈澱池の更新を進めます。
- ・ 水源をめぐる多様なリスクに対応するため、木曾川水系連絡導水路などにより水源の多系統化を進めるとともに、複数河川からの直接取水について検討を進めます。

#### ②水道水の品質管理 **水道**

- ・ 水質・水圧遠方監視装置を用いた塩素注入量の管理や配水管内における水道水の滞留防止などにより、残留塩素濃度を適正に管理します。
- ・ 急速ろ過池でのろ過水質の安定化を図るため、ろ床更生を定期的を実施します。  
急速ろ過池のろ床更生 10池
- ・ 浄水処理した水道水の品質を確保するため、配水池の清掃、配水管内クリーニングを行います。  
配水池清掃 2池  
配水管内クリーニング 10km
- ・ 中高層集合住宅の居住者に新鮮な水を届けることができるよう、受水槽を経由することなく配水管から直接水を利用する直結給水の普及を促進します。

貯水槽水道の利用者が安心・安全でおいしい水道水を飲むことができるよう、法的規制を受けない小規模貯水槽水道の点検・指導を実施するとともに改善状況を確認します。

小規模貯水槽水道の点検対象 3,400 か所

※貯水槽水道：配水管から引き込んだ水道水をいったん受水槽に貯め、ポンプや高置水槽を経由して給水する方式の水道。主に集合住宅やビルなどで用いられている。



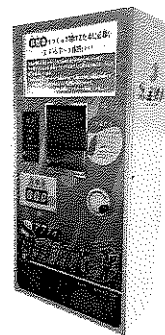
【小規模貯水槽水道の点検】

### ③安心・安全でおいしい水道水のPR 水道

- 集客力の高い観光施設などへマイボトルに対応した水道水直結の冷水機「常設型金鯪水<sup>きんこすい</sup>」を設置します。また、常設型金鯪水や可搬型金鯪水を各種イベントなどで活用し、なごやの安全でおいしい水道水を直接飲んでいただく機会の拡充を図ります。

常設型金鯪水設置場所 名古屋駅

- 名古屋の魅力を伝えるデザインで手に取りやすいサイズのなごやのおいしい水道水PR用「名水」を各種会議や局内外のイベントなどで配布し、なごやの水道水の安全性やおいしさを広く効果的にPRします。
- アジア・アジアパラ競技大会の開催に伴い、国内外から多くの方が本市を訪れることから、常設型金鯪水やなごやのおいしい水道水PR用「名水」を活用したキャンペーンを実施します。



【常設型金鯪水（名古屋市科学館）】



【なごやのおいしい水道水PR用「名水」】

#### ④木曾三川流域連携の推進 **水道・下水道**

- ・ 木曾三川流域自治体が一体となり、将来にわたり水環境保全の取り組みを推進するため、木曾三川流域自治体連携会議を構成し、構成首長等が集う木曾三川流域自治体サミットや各種関係会議を開催するほか、同会議に未加入の自治体の参加を促し、流域自治体相互の連携を強化します。
- ・ 上中流域を中心とした地域経済の振興を支援するため、流域のPRや特産品の販売等を行う木曾三川マルシェや上中流域の生産者と下流域の仕入れ民間事業者などとの商談会を開催します。
- ・ 木曾三川流域連携シンポジウムに、広く住民の参加を促すなど、住民の交流と水環境保全の意識醸成につなげます。
- ・ 市民参加型現地イベントとして「木曾川さんありがとう」や「水源地探検隊」、「サマーとりっぷ in 木祖村」を開催し、上下流交流や水環境保全への意識高揚を図ります。



【木曾三川マルシェ】



【木曾川さんありがとう】

①下水道による水環境の向上 **下水道**

事業費 30億6,800万円

- ・ 都心部に近い堀川上中流部及び新堀川上流部におけるさらなる水質浄化として、雨水幹線の整備や中区三の丸地区における分流化などを実施します。
- ・ 合流式下水道から雨天時に河川等に放流される汚れの量を削減するため、水処理センターで実施する簡易処理の処理水質を向上させる施設の整備などの対策を進めます。

整備施設

- ・ 熱田水処理センター

- ・ 水処理センターの整備・改築にあわせて、従来の下水処理方法と比べて主に窒素・りんを多く除去できる高度処理の導入を進めます。

整備施設

- ・ 山崎水処理センター

- ・ 中川区及び港区の庄内川西部地区、守山区の志段味地区、緑区の一部地区において、土地区画整理事業などと整合を図りながら下水道整備を進めます。

整備面積 12ha

## ②汚水排出の適正化に向けた啓発・指導 **下水道**

- ・ 地下排水槽<sup>※</sup>での長時間の汚水滞留による悪臭発生を防止するため、臭気調査の結果を踏まえて、悪臭の発生源となる可能性がある施設を対象として、排水ポンプの運転方法や清掃等について建物管理者などに改善を働きかけます。

※地下排水槽：ビルの地下などからの汚水を下水道へポンプで排出するために一時的に貯留する槽

- ・ 下水管の閉塞や公共用水域の汚濁を防止するため、ディスプレイ排水処理システムや飲食店等が設置する油（グリース）阻集器の定期的な点検や清掃等について建物管理者などに働きかけます。
- ・ 下水道施設や下水処理に影響を及ぼすおそれのある事業場等に対し、立ち入り検査などにより、排水の監視や指導を行います。

## ③温室効果ガスの排出削減－１ **水道**

- ・ 春日井浄水場において、現在の水運用に対して適切な能力の送配水ポンプや設備の更新にあわせた省エネルギー機器の導入を進めることにより、温室効果ガス排出量を削減します。

## ④温室効果ガスの排出削減－２ **下水道**

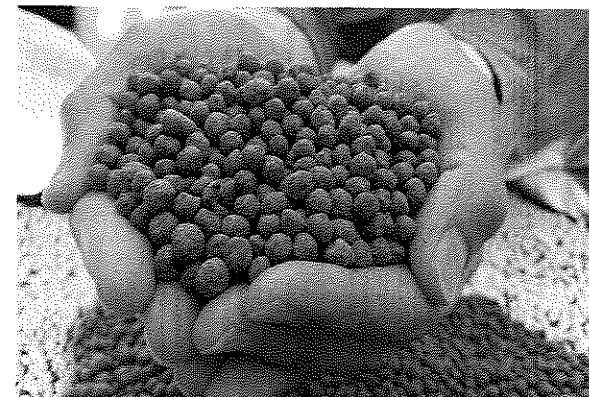
- ・ 水処理センターなどにおいて、設備の改築にあわせて省エネルギー機器の導入を進めることにより、温室効果ガス排出量を削減します。
- ・ 柴田汚泥処理場において、汚泥焼却施設の改築を実施することで省エネルギー性能を向上し、温室効果ガス排出量を削減します。
- ・ 空見スラッジリサイクルセンター第２期焼却施設において、エネルギー効率に優れた汚泥焼却施設を導入することにより、温室効果ガス排出量を削減します。

- ・ 柴田汚泥処理場などにおいて計画的にLED照明を導入することにより、温室効果ガス排出量を削減します。
- ・ 鍋屋上野浄水場において電気自動車の導入を図るほか、排出ガス性能や燃費性能の優れた車両も導入します。

### ⑥再生可能エネルギー及び資源の有効活用ー1

下水道

- ・ 空見スラッジリサイクルセンターにおいて、下水汚泥から石炭代替燃料として利用可能な固形燃料化物を製造し、バイオマスエネルギーとして近隣施設での有効利用を図ります。
- ・ 固形燃料化物の肥料利用に向けて、公共施設において試験利用を実施します。
- ・ 高度処理を行った下水再生水について、水源の乏しい河川の水源や都市部のせせらぎ創出のために有効活用を図ります。また、地域冷暖房施設の熱源として利用するなど下水処理水の熱エネルギーの有効活用を図ります。



【下水汚泥固形燃料化物】

### ⑦再生可能エネルギー及び資源の有効活用ー2

水道・下水道

- ・ 上下水道局の建物の上部などを利用して、太陽光エネルギーの有効活用を図ります。

### (3) どんなときでも ～連携による危機管理～ 施策5 災害対応力の強化

#### ①地域と連携した防災・減災力の向上 **水道・下水道**

- ・ 地域と協働して防災訓練を実施するとともに、地域主催の防災訓練などに積極的に協力し、行政と地域との連携を強化します。
- ・ 応急給水施設や下水道直結式仮設トイレを設置する震災用マンホールなどをPRするとともに、地下式給水栓の操作講習会を実施し、操作を習得した地下式給水栓アドバイザーの増加を図ります。
- ・ 災害用備蓄飲料水「名水」の販売や、リーフレットの配布を通じて、水の備蓄や応急給水への協力など「自助・共助」に関する啓発に努めます。
- ・ 過去の災害等の応援活動を通して得た知識や経験等を地域主催の防災訓練などの機会を捉えて地域の皆さまに伝え、防災意識の向上を図ります。



【防災訓練(地下式給水栓の操作)】

#### ②応急活動体制の強化 **水道・下水道**

- ・ 上下水道一体での応急活動や他都市からの支援を想定した訓練を実施するなど、本市の災害対応力を向上させる取り組みを進めます。
- ・ 事業継続計画（BCP）の定着を目的とした研修や防災訓練を実施するなど、すべての職員の災害対応力の向上を図ります。
- ・ 長時間の停電時にも応急活動を継続可能とするため、地域防災活動拠点である営業センター及び管路センターの非常用発電設備の燃料備蓄量が72時間分となるよう機能強化を進めます。

#### 主な整備施設

- ・ 東部営業センター
- ・ 東部管路センター

- ・ 公共施設での雨水の貯留・浸透施設の設置を推進するとともに、機能や効果を紹介するパネルを設置するなど雨水流出抑制の「見える化」を進めます。また、イベントなどの機会を捉え、雨水流出抑制の普及・啓発に努めるとともに、助成制度の周知もあわせて行うことで、市民・事業者の雨水流出抑制への取り組みを一層推進します。
- ・ 防災部局と連携し、ハザードマップの周知・活用促進や、地下街等が発展し内水氾濫によって相当な損害が生じる恐れがある名古屋駅周辺区域における下水道の水位情報の提供を行うほか、上下水道局公式ウェブサイトにて雨水ポンプの運転状況を提供し、円滑な避難や水防活動に必要な防災情報の普及・啓発に努めます。
- ・ 各種広報媒体等を活用し、雨水ますの清掃や、家庭にあるプランターなどを止水板の代わりとして宅内への浸水を防ぐ簡易水防工法など、市民・事業者に対して自らできる浸水対策の普及・啓発に努めます。

## 施策6 民間企業や他都市等との連携強化

### ①民間企業等との連携強化 **水道・下水道**

- ・ 大規模災害発生時でも事業を継続できるよう、民間企業や団体と防災訓練を実施するなど、連携強化を図ります。
- ・ 名古屋大学減災連携研究センターと連携し、防災減災のための調査研究に取り組み、産官学での共同研究や連携強化によりさらなる災害対応力の強化につなげます。

### ②他都市等との連携強化 **水道・下水道**

- ・ 他都市との相互の応援活動が円滑かつ確実に実施できるよう、応援協定等を締結している京都市、横浜市、新潟市との合同防災訓練の実施や職員の相互派遣などを通じて連携を強化します。
- ・ 他都市応援を受け入れる訓練などの実施により、応急活動にかかる受援体制の実効性向上を図ります。
- ・ 木曾川水系水質保全連絡協議会や庄内川水系水質保全連絡協議会と河川の水質について情報共有を図るとともに、定期的実施される水質事故対応訓練に参加します。



【他都市との合同防災訓練】

## 施策7 経営改善の推進

### ①料金制度の見直し・収益の確保－1

水道

- ・ 水道の大口使用や地下水利用専用水道を導入したお客さまを対象に訪問活動を実施して、上下水道事業についてご理解いただくとともに、率直なご意見を伺うなど信頼関係の構築に努め、水道を使用していただけよう働きかけます。
- ・ 水に関するお役立ち情報をお届けする上下水道局公式ウェブサイト「うるおいライフ」において、健康、家事、環境、学びなどに関連した水道水の利用方法を提案します。
- ・ 「安心・安全な水 水道管耐震化応援寄附金」を通じて、財源の確保と事業の理解促進を図ります。

### ②料金制度の見直し・収益の確保－2

水道・下水道

- ・ 将来にわたって上下水道事業を安定的に運営していくため、継続的に料金制度の検討を行います。
- ・ 定期借地契約を主軸とする土地の貸付や売却のほか、広告収入やネーミングライツによる収入の確保など積極的に保有資産の有効活用を推進します。また、堀留水処理センターの上部空間の有効活用について検討を進めます。
- ・ 観光推進、企業誘致施策について、関係局と調整の上、連携を進めます。

### ③事業運営体制の再構築－１ **水道**

- ・ 設計及び建設を一括して発注するDB方式により春日井浄水場凝集沈澱池の更新を進めます。

### ④事業運営体制の再構築－２ **下水道**

- ・ 設計、建設及び運営を一括して発注するDBO方式により空見スラッジリサイクルセンター第2期焼却施設の整備を進めます。
- ・ DBO方式による山崎水処理センターの改築や、維持管理と設備の改築を包括的に委託するウォーターPPPによる名城水処理センターの運営委託について、事業者選定審議会の答申を踏まえ、事業者の選定を行い、事業に着手します。

下 水道 X

### ⑤事業運営体制の再構築－３ **水道・下水道**

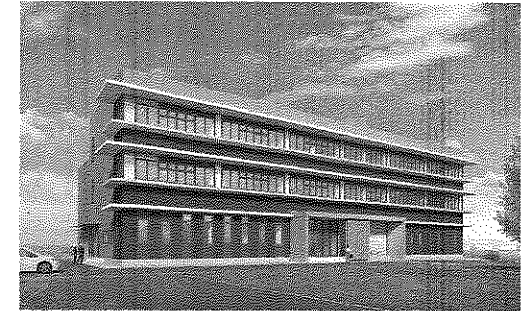
- ・ ウォーターPPPをはじめ、PPP/PFI手法の検討・導入を行うなど、官民連携を推進します。
- ・ 管路センターの維持管理業務について、委託化を行うことで業務執行体制の見直しを進めます。
- ・ 業務の効率化を図るため、業務フローを抜本的に見直すBPR (Business Process Re-engineering) を実施します。

### ⑥NAWSの活用 **水道・下水道**

- ・ 雨水ポンプ施設の運転管理など公的な役割が求められる業務について、本市の出資法人である名古屋上下水道総合サービス株式会社 (NAWS) と連携して行います。

## ①人材育成の推進 **水道・下水道**

- ・ 職員一人ひとりが仕事の経験とその振り返りを通じて気づきや学びを得られるよう支援し、職員が自律的に能力開発を行っていけるよう組織的なOJTを推進します。
- ・ LMS（学習管理システム）を有効活用し、研修を効率的・効果的に実施します。
- ・ DXの推進に貢献できるデジタル人材など、事業運営に必要とされる人材の育成に取り組みます。
- ・ 職員の技術力や広域的に上下水道事業の技術基盤の維持・強化などを図るため、上下水道事業に関する多様な技術を一つの施設で体系的に学ぶことができる国内唯一の研修施設として実技研修施設を開設します。



【新実技研修施設のイメージ】

## ②技術力を活かした広域連携・国際協力の推進 **水道・下水道**

- ・ 本市が主催する広域連携連絡会議において、近隣上下水道事業者が抱える課題の共有や意見交換を行い、課題解決に取り組みます。
- ・ 近隣上下水道事業者のニーズに応じ、技術協力やNAWSを通じた業務支援などを行い、課題解決に寄与します。
- ・ 愛知県主催の広域化等に関する会議に参加し、共同化した給排水設備指定工事店の登録等事務の適切な運用など、近隣上下水道事業者との連携を進めます。
- ・ 独立行政法人国際協力機構（JICA）等の要請を受け、上下水道分野の海外研修員を引き続き受け入れるなど、開発途上国への国際協力を進めます。
- ・ 開発途上国が抱える上下水道の問題解決に向けて、JICAなどと連携し、メキシコ市において実情やニーズを踏まえた技術協力事業を実施します。また、スリランカへの技術協力に向けた調査・調整を進めます。
- ・ 中部地域の産・官・学で構成される「水のいのちものづくり中部フォーラム」の一員として、地元民間事業者や関連団体と連携し、国際的な水ビジネス展開を支援します。



【海外からの研修員受け入れ】

## ③職場環境の向上と適正な事務執行 **水道・下水道**

- ・ 職員一人ひとりが健やかに働くために、メンタルヘルスケアや健康障害の防止に努め、職員の心と体の健康づくりを推進します。
- ・ 適正なサービス規律を保ち、市民の皆さまからの信頼を確保するため、研修を継続的に実施するなど、コンプライアンス意識を徹底します。

### ①デジタル技術を活用した上下水道事業のスマート化－1 **水道**

- ・ 水道スマートメータについて、検針が困難な箇所など、導入の効果や必要性の高い箇所からの運用を開始します。
- ・ モバイル端末の活用により、営業事務の業務効率化やペーパーレス化を図ります。
- ・ 配水管をより効率的・効果的に更新するため、更新優先度評価においてA I など新たな技術の活用に向けた検討を進めます。

### ②デジタル技術を活用した上下水道事業のスマート化－2 **水道・下水道**

- ・ 災害時における施設の被害状況や応急活動の進捗情報をリアルタイムに把握、集計しながら、応急活動に必要なリソースの適切な管理及びお客さまへの速やかな情報提供が可能な災害情報システムを導入します。

### ③デジタル技術を活用した事務のスマート化 **水道・下水道**

- ・ R P A (Robotic Process Automation) を活用した多量で定型的な業務の効率化や、プログラミング知識がなくても職員自らアプリケーション開発ができるツール（ノーコード・ローコードツール）を活用した業務改善に取り組みます。
- ・ モバイルワークの実施による業務効率化及び多様な働き方を推進します。
- ・ 効率的・効果的な業務の執行を目指して、生成A I を導入するほか、B I ツールなどの新たな技術の検証を行います。

## 施策10 市民の皆さまとの信頼の構築

### ①広報・広聴を通じた相互コミュニケーションの充実 **水道・下水道**

- ・ 上下水道局公式ウェブサイトやSNS、広報なごやなどの媒体を活用し、上下水道の仕組みや役割のほか、老朽施設への対応や経営状況など上下水道局が抱える課題等について、より多くの方に見ていただけるように目的やターゲット層を意識して、積極的かつ効果的な、伝わる情報発信に努めます。
- ・ 上下水道の仕組みや役割をわかりやすく伝えるため、なごや水フェスタ、工事現場見学会やポンプ所公開等のイベント、浄水場・水処理センターなどの施設見学の受け入れを通じ、上下水道の「見える化」に取り組みます。また、オンライン施設見学や上下水道局公式ウェブサイト上でのXR<sup>\*</sup>動画などの活用により、見学機会の拡充を図ります。

※XR：現実世界と仮想世界を融合する技術の総称。VR（仮想現実）やAR（拡張現実）に加え、ARをさらに発展させた技術であるMR（複合現実）などがある。

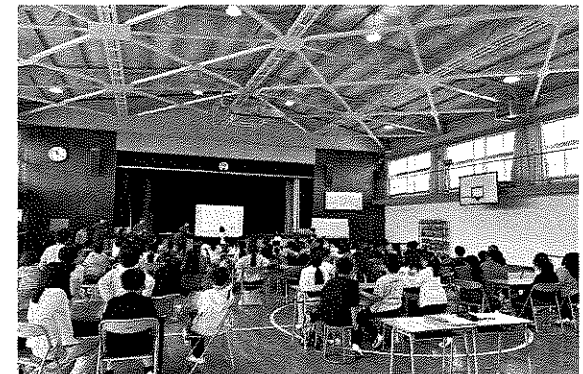
- ・ 水の歴史資料館での企画展や各種イベントの拡充、下水道科学館でのワークショップや名城エリアの他施設と連携したイベントを開催するなど、魅力ある施設運営を行います。
- ・ 子どもたちに上下水道を知り、興味を持ってもらうため、小学生を対象に上下水道訪問授業を実施します。また、保健センターと連携してなごやの水道水の特徴や安全性などをPRするチラシを妊娠届出時と乳幼児検診時に配布し、子育て世代に向けた広報に取り組みます。



【工事現場見学会】



【下水道科学館】



【小学校での上下水道訪問授業】

上下水道事業に理解や関心のある幅広い年齢層のお客さまに、「アメンボクラブ」の会員として施設見学会や学習会に参加し理解を深めていただくとともに、サポーターとして広報活動に協力していただきます。

- ・ お客さまから日々寄せられるご意見・ご要望のほか、各種のアンケートにより、お客さまのニーズを的確に把握し、事業運営に活かすことで、お客さまサービスの向上を図ります。
- ・ なごやの安心・安全でおいしい水道水や防災の取り組みなどについて、新たに水道を使用される方に向けた広報に取り組みます。

### ②お客さまサービスの向上 **水道**

- ・ お客さま自身がインターネットを活用して、料金・検針情報などを確認することができるサービスを導入します。
- ・ 引越に伴う転出届や水道・電気・ガス等の手続きをスマートフォンなどで一括して行うことができる引越しワンストップサービスに参画し、お客さまの利便性向上を図ります。

### ③事業モニタリング環境の充実 **水道・下水道**

- ・ 各分野の専門家の知見や上下水道の利用者などからの幅広い意見をいただく上下水道事業審議会において、継続的に持続可能な事業運営のあり方などについて議論していただきます。
- ・ 解決すべき課題などについて、お客さまとともに考え、共感していただくきっかけづくりの場であるシンポジウムを開催します。

## 2 工業用水道事業

### (1) 工業用水道事業の運営

- ・ 工業用水道基幹施設については、点検・調査に基づき長寿命化を図るとともに、施設の重要性、緊急性、事業費の平準化などを考慮しながら更新を進めます。また、管路施設の安全性を向上させるため、老朽化している配水管の更新を行い、耐震化を進めます。

配水管の整備延長 0.5km

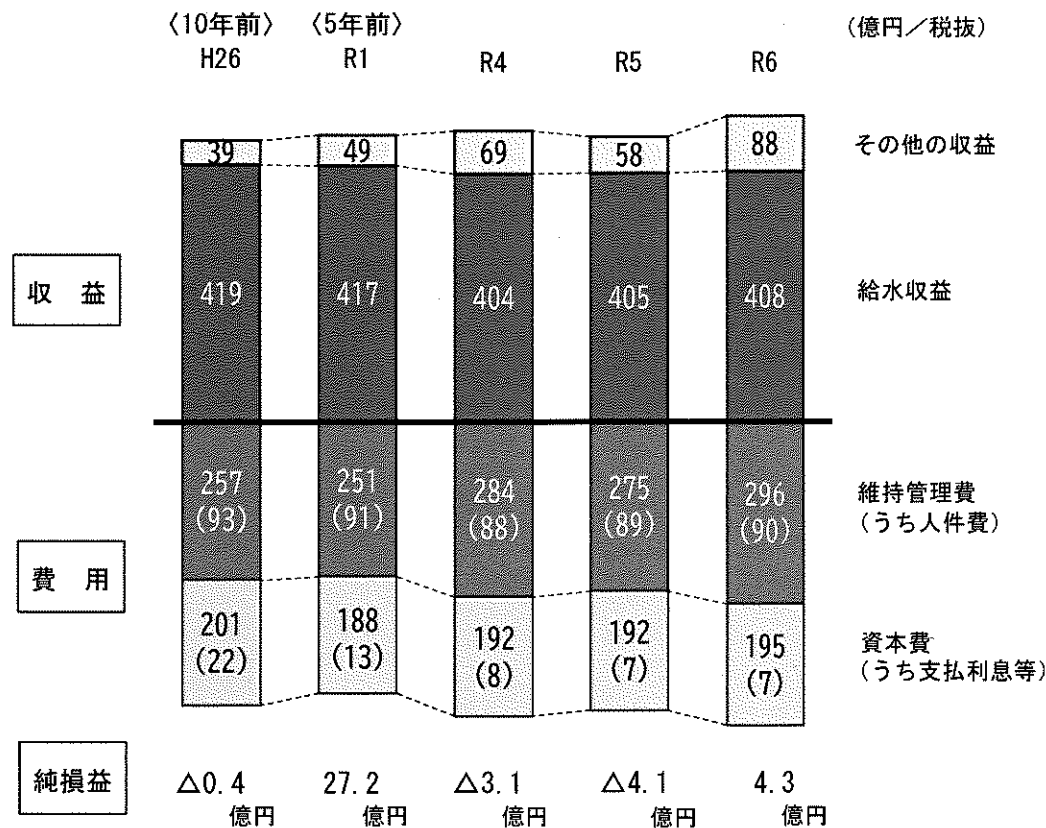
- ・ 工業用水道の利用拡大に向け、未給水事業所に対するアンケート調査を行い、その結果をもとに個別に事業所を訪問し、工業用水道への転換を働きかけます。また、大規模開発事業の情報を収集し、計画段階から工業用水道の利用を促進します。

# 經營概況

## (1) 水道事業

### ア 経営状況

収益面では、総収益の約8割を占める給水収益（水道料金）が増加したほか、令和6年度包括外部監査における意見を受けて、過去に計上した減価償却費のうち超過額を過年度損益修正益として計上したことなどにより、令和6年度は前年度に比べ増収となりました。費用面では、配水管布設替工事に係る費用が増加するなど維持管理費が前年度に比べ増加しました。費用よりも収益が増加し、純利益約4億3千万円を計上しました。



#### 給水人口・有収水量の推移

区 分	H26	R1	R4	R5	R6
給水人口（万人）	240.5	246.1	245.4	245.6	246.3
有収水量（百万m <sup>3</sup> ）	261	262	258	258	259

#### 職員定数の推移

区 分	H26	R1	R4	R5	R6
職員定数（人）	1,343	1,287	1,240	1,228	1,220

#### 企業債残高・平均利率の推移

区 分	H26	R1	R4	R5	R6
企業債残高（億円）	946	857	741	724	754
平均利率（％）	1.71	1.06	0.80	0.77	0.88

イ 純利益の使途

純利益は、議会の議決を経たのち、建設改良積立金として積み立ててきており、建設改良事業の財源として使用することで、施設の整備・更新に役立ててきました。

令和6年度の純利益約4億3千万円は、令和7年度に建設改良積立金に積立処分する予定です。

上下水道事業を取り巻く経営環境は極めて厳しい状況が続いておりますが、安定的な上下水道サービスを将来にわたって維持していくため、引き続き、さらなる収益の確保や経費の削減などの経営努力に努めてまいります。

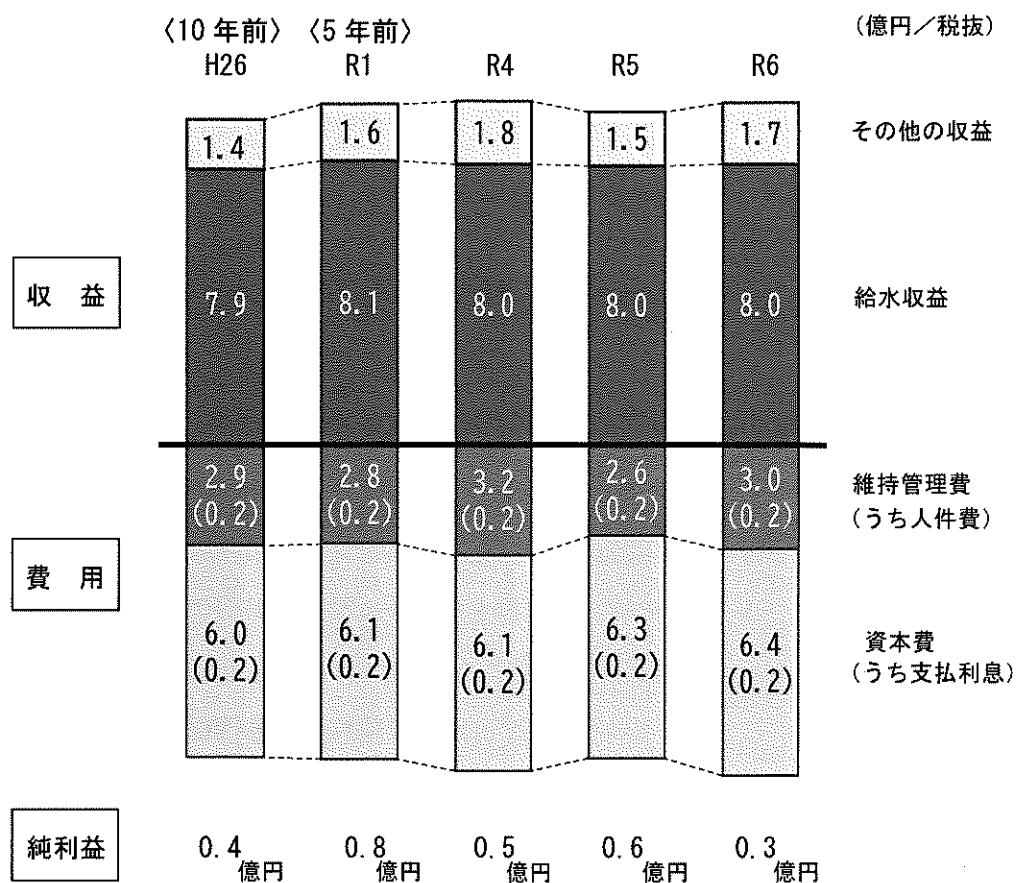
区 分		H26	R1	R4	R5	R6
純利益（億円）		△0.4	27.2	△3.1	△4.1	4.3
使途	建設改良財源		20.3			4.3
	純損失の補てん		6.9			

（注）表は各年度の純利益の使途を表しており、積立金に積み立てる年度や財源として使用する年度とは一致しません。

## (2) 工業用水道事業

### ア 経営状況

給水収益（工業用水道料金）はほぼ横ばいとなっており、効率的な事業運営に努めることで純利益を確保しています。令和6年度は、純利益約2千8百万円を計上しました。



給水事業所数・給水量の推移

区 分	H26	R1	R4	R5	R6
事業所数（事業所）	110	114	110	109	110
給水量（万m <sup>3</sup> ）	2,249	2,325	2,313	2,304	2,306

## イ 純利益の用途

純利益は、議会の議決を経たのち、建設改良積立金として積み立ててきており、建設改良事業の財源として使用することで、施設の整備・更新に役立ててきました。

令和6年度の純利益約2千8百万円は、令和7年度に建設改良積立金に積み立て、老朽化対策や地震対策などの建設改良事業の財源として令和8年度に使用する予定です。

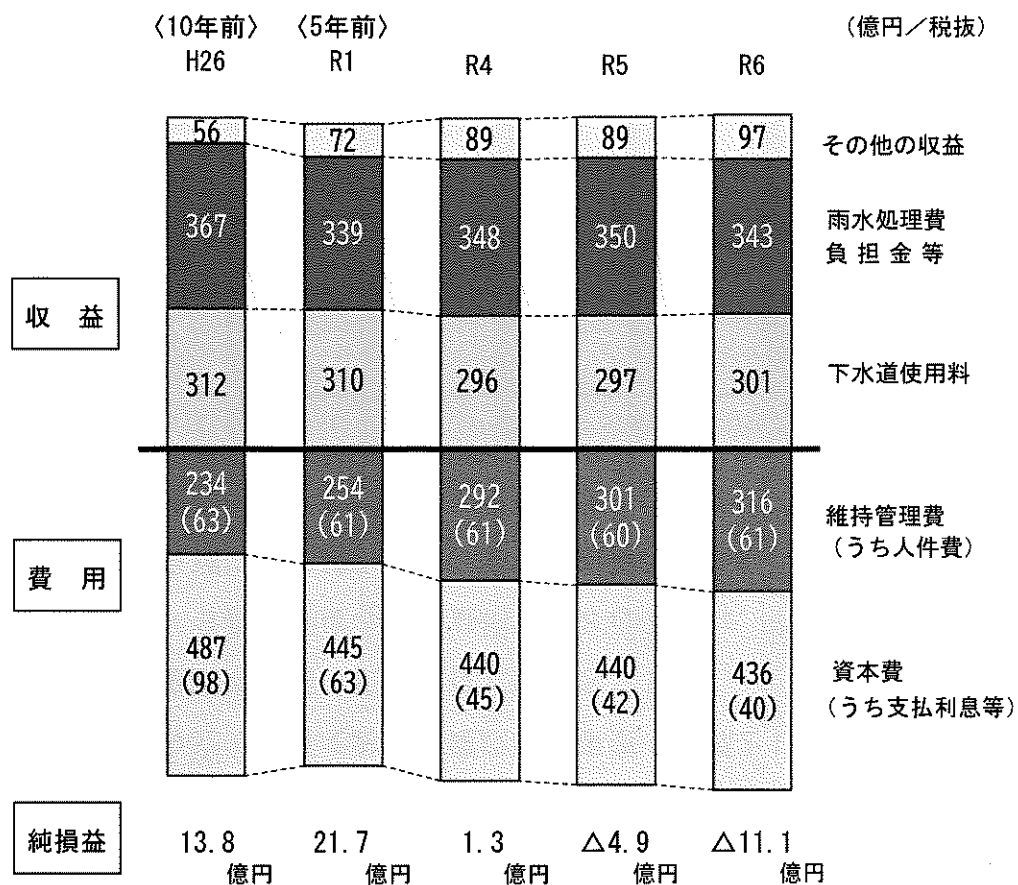
区 分		H26	R1	R4	R5	R6
純利益（億円）		0.4	0.8	0.5	0.6	0.3
用途	建設改良財源	0.4	0.8	0.5	0.6	0.3

（注）表は各年度の純利益の用途を表しており、積立金に積み立てる年度や財源として使用する年度とは一致しません。

### (3) 下水道事業

#### ア 経営状況

収益面では、雨水処理費負担金等が減少したものの、下水道使用料が増加したことや固定資産の売却益を計上したことなどにより、令和6年度は前年度に比べ増収となりました。費用面では、下水管の調査に係る費用が増加するなど維持管理費が前年度に比べ増加しました。収益よりも費用が増加したため、2年連続で純損失を計上しました。



#### 有収水量の推移

区 分	H26	R1	R4	R5	R6
有収水量 (百万m <sup>3</sup> )	257	258	253	252	255
水道汚水	241	242	239	238	240
水道以外汚水	16	16	14	14	15

#### 職員定数の推移

区 分	H26	R1	R4	R5	R6
職員定数 (人)	1,015	973	957	948	941

#### 企業債残高・平均利率の推移

区 分	H26	R1	R4	R5	R6
企業債残高 (億円)	4,816	4,430	4,264	4,200	4,176
平均利率 (%)	1.95	1.30	1.01	0.96	0.98

## イ 純利益の用途

純利益は、議会の議決を経たのち、建設改良積立金として積み立ててきており、建設改良事業の財源として使用することで、施設の整備・改築に役立ててきました。

令和6年度は、下水管の調査に係る費用が増加するなど維持管理費が前年度に比べ増加した影響により、純損失約11億1千万円を計上しました。

上下水道事業を取り巻く経営環境は極めて厳しい状況が続いておりますが、安定的な上下水道サービスを将来にわたって維持していくため、引き続き、さらなる収益の確保や経費の削減などの経営努力に努めてまいります。

区 分		H26	R1	R4	R5	R6
純利益（億円）		13.8	21.7	1.3	△4.9	△11.1
用途	建設改良財源	13.8	21.7	1.3		

（注）表は各年度の純利益の用途を表しており、積立金に積み立てる年度や財源として使用する年度とは一致しません。